

これからの梨の栽培管理について（第7号）

令和6年9月3日
 なのはな農業協同組合
 富山県富山農林振興センター

1 病害虫の発生状況

8月27日の黒星病発生状況調査結果では、右表のとおり、いずれの品種も、前年、平年に比べ少ない状況です。しかし、新梢葉での発病が増加傾向のため、今後の黒星病秋型病斑葉の発生が懸念されます。

また、一部地域でカイガラムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類等の被害が多い状況です。

表 8月下旬の黒星病発生果そう率(%)

品種	R6	R5	R4	R3	R2	R元	平均
幸水	3.7	13.7	6.2	7.3	8.5	2.7	7.7
豊水	2.7	8.0	4.3	2.4	1.0	1.5	3.4
あきづき	0.3	7.8	1.5	0.3	0.5	1.0	2.2
新高	0.0	1.8	0.3	0.3	0.1	1.1	0.7

2 これからの防除について

黒星病対策（黒星病秋型病斑葉の発生防止＝来年の黒星病発生防止）、カメモシ類・シンクイムシ類対策（今後収穫を迎える果実の被害防止）、ハマキムシ類対策（越冬密度低下＝来年の発生防止）のため、以下の内容で防除を実施してください。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	散布 液量	主な対象 病害虫	防除 実施日
19	9月9日 (13:00以降)	ナリアWDG 2,000倍 (収穫24時間前まで)	前日	300 リットル	黒星病 シンクイムシ類、 ハマキムシ類、 カメモシ類	
	～10日 (※1)	アグロスリン水和剤 2,000倍 (収穫24時間前まで)	前日 (※2)			
※ナリアWDG、アグロスリン水和剤ともに、全品種が防除対象です！						

【注意事項】

- ※1 降雨等により、19回目の防除が上記の日程通りに実施できなかった場合は、隣接する園地の生産者に連絡のうえ、9月13日（13:00以降）～14日に実施してください。
- ※2 収穫期間近あるいは収穫期間中となるので、農薬の使用時期（収穫前日数）に十分注意してください。「収穫前日」の薬剤は、散布後24時間以上あけて収穫し、隣接する収穫園にも十分気を配りましょう（万が一、散布後24時間以内に収穫した場合は、果実を廃棄してください）。
- ※3 周囲の農作物や住宅等への農薬の飛散に十分注意して散布してください。特に、通学路に面した園地では、登下校時の時間帯を考慮して散布してください。また、防除開始時間は、午前5時以降としてください。
- ※4 作業に当たっては、こまめに水分を補給するなどして、熱中症に留意してください。